

広報

えどがわ

E D O G A W A

2022年
4 / 1
特別号
no.2001

2100年・2030年
未来のビジョン
（構想）
完成まであと少し！

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください



- Please let us hear what you think about our vision of the future.
- 关于未来的展望，请提供您的宝贵意见。
- 미래의 비전에 대하여 의견을 들려주세요.



ともに、生きる。
江戸川区

2100年・
2030年

未来のビジョン

完成まで
あと少し!

「未来のビジョン」ってなに?

「今」は「未来」への出発点

区では今、とても大切なビジョンを描こうとしています。
このビジョンは、「今」を「未来」への出発点として考え、「誰もが安心して自分らしく暮らせるまち」である共生社会の実現に向けて、区の歩んでいく方向性を示すものです。
本特集では、このビジョンの概要をお知らせします。

未来のビジョン

2100年

(仮称)

共生社会ビジョン

区が目指す共生社会の姿を、
分かりやすく表現したもの

2030年

(仮称) SDGs =

共生社会ビジョン

区が目指す共生社会の姿を
実現するために、2030年までに
行うべき具体的な施策をまと
めたもの

なぜ2100年?

2100年は、今日生まれた赤ちゃんが生きる時代です。ところが、区の人口やお金は2100年までに少しずつ減っていくことが予測されます。今のままの生活を続けると、未来はどうなってしまうのでしょうか。私たちは、今の生活を豊かにしながら、2100年を生きる人たちのために何ができるのでしょうか。

なぜ2030年?

2030年までに達成すべき目標として定められたのが、SDGsです。2030年は、SDGsを達成し、目指す2100年にたどり着くための通過点と言えます。

2100年

共生社会の実現

- たどり着きたい未来
- 「ともに生きるまち」(共生社会)

SDGsってなに?

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年に国連サミットで採択された世界共通の目標です。

「すべての人に健康と福祉を(ゴール3)」「平和と公正をすべての人に(ゴール16)」のように人や社会に関わる目標から、「働きがいも経済成長も(ゴール8)」のように経済に関わるもの、「気候変動に具体的な対策を(ゴール13)」のように環境に関わるものまで、全部で17個のゴールが設定されています。

SDGsと共生社会の理念は同じ

SDGsの「誰一人取り残さない」という理念と、区が目指す共生社会「ともに生きるまち」の理念は同じです。SDGsの達成が、共生社会の実現につながるのです。



2030年

エスディーゼイズ SDGsの目標達成の年

- たどり着きたい未来に行くための通過点

2022年

未来への出発点

- 目指す未来に向けて考え、行動するとき

まず、2100年(仮称)共生社会ビジョンの素案がこちら

2100年の江戸川区の姿

ともに生きるまち(共生社会)

2100年共生社会ビジョン(仮称)

目指す2100年の姿、それは「ともに、生きる。江戸川区」

このビジョンは、みんなで力を合わせて2100年を迎える江戸川区とそうではない江戸川区、2つの世界にそれぞれ生まれた赤ちゃんの「ものがたり」から始まります。

そこから見えてくるのは、私たち一人ひとりが考え、行動することの大切さ。それをうらづけるように、区民のみなさんからも未来に向けたご意見をたくさんいただきました。

それらのご意見をもとにビジョンの後半には、2100年に区が目指す、ともに生きるまち(共生社会)の姿が5つの視点で描かれています。ぜひみなさんも、「ともに生きるって何だろう?」と想像しながら、読んでみてください。

経済と ともに生きる

- 全ての事業者は地域に力を与えてくれる大切な「区民」の一人です
- 新たなビジネスチャンスが豊富で、昔からの産業も新たな価値を生んでいます

人と ともに生きる

- 一人ひとりちがいはあっても、みんなが認めあい自分らしく暮らしています
- 自分のやりたいことには、誰でも、なんでもチャレンジできます

環境と ともに生きる

- 「水の都」として親しまれています
- みどりが豊かで大きな空も広がっています
- 災害に負けないまちになっています

社会と ともに生きる

- 多様な人々が良い意味で「ごちゃまぜ」に暮らしています
- 「人と人が支え合う力」がこのまちのエネルギーです
- 自分たちのまちを自分たちの力で良くしています

未来と ともに生きる

- みんなが未来のことを考えて行動しています
- 今ある環境をさらに豊かにして未来につないでいます

2100年の江戸川区をのぞいてみよう



これからもみんなで話し合っ
て良いまちにしていこうね!



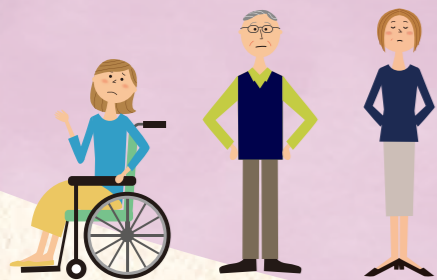
みんなのサポートのおかげで、近くの商店街に夢だった自分のお店をオープン! おまつりにも出店!

校舎を長く、ていねいに
使い続けるために、
みんなで意見を出しあった!

近所みんなで育てた
花がたっくん。
公園で遊ぶの大好き!

2100年

みんなまちのことに無関心...
もっと話し合いたかったな。



大人

小・中学生

子ども

2022年

みんなで力を
合わせれば...

協力せずにいると...

2つの
江戸川区の
ものがたり

続いて、2030年(仮称)SDGs=共生社会ビジョンの素案はこちら

商店街もシャッターの
おりたお店が増えていく。
大好きだったおまつりも
とうとう中止に...

古びた校舎や学校の設備。
どうにかしたいけど、
誰も何も言わないし...

雑草がのび放題の公園...
近所の人々も見て見ぬふりをしているよう。

私たちが目指す2030年の ともに生きるまち(共生社会)

2030年SDGS II 共生社会ビジョン(仮称)
(素案)

4
歴史ある産業と
新たな産業が調和し、
地域に活力と価値を生み出す、
経済が元気なまち

3
限りある資源を大切にし、
青い空、豊かな水辺とみどりを
守り育てる、
環境にやさしいまち

2
生命・財産を守るため、
みんなで力を合わせて
あらゆる危機を乗り越える、
安全で安心なまち

2030年を見すえたこのビジョンでは、
5つの目指すまちの姿を描きます。

1
区民一人ひとりが希望を持ち、
多様性に満ちあふれた、
自分らしく輝けるまち

5
地域の特色を生かした
まちづくりが進み、
快適で便利な暮らしができる、
住み続けたいくなるまち



5つの目指すまちの姿に向けて
取り組む主な施策を紹介します

私たちが目指す2030年のSDGs

～SDGs17ゴールごとの主な施策～

詳しい内容は
こちらからご覧ください



2030年のともに生きるまち(6～7ページで紹介した共生社会)を実現するための取り組みとして、SDGsの17ゴールごとに紹介します。SDGsの各ゴールの達成が、ともに生きるまちの実現につながることを示しています。



2021年4月

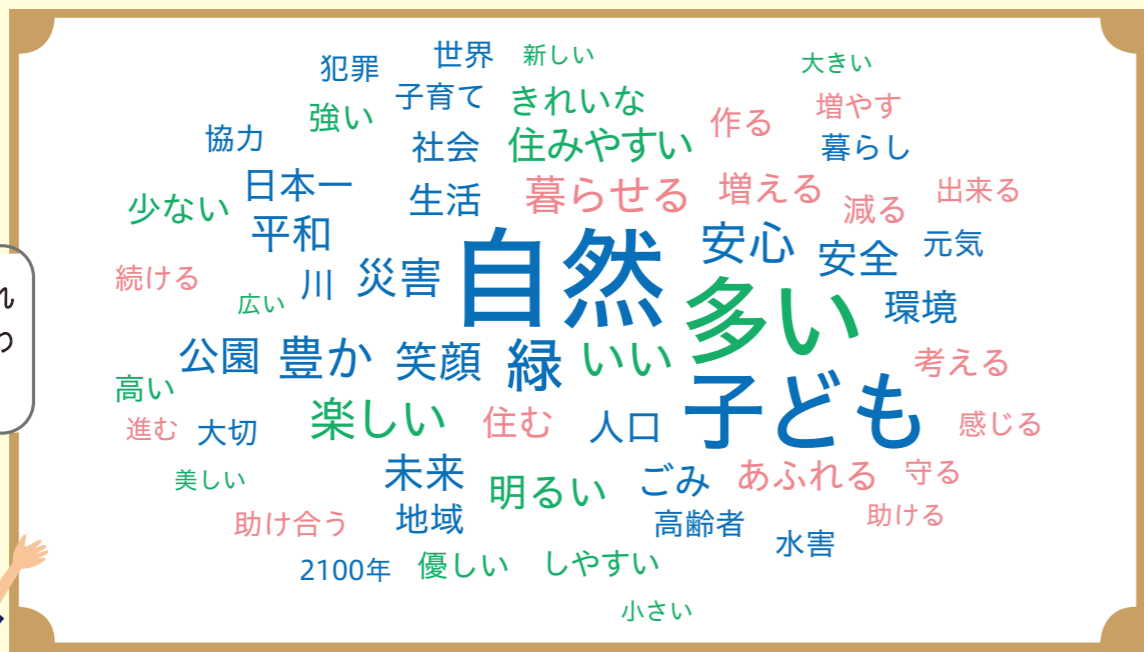
区民のみなさんから
多くの声をいただきました

区が目指す未来について、「みんなのえどがわ大会議」と題し、広く意見募集を行い、たくさんの方々から計7904件のご意見をいただきました。「未来に向けて今を生きる私たちが何をすべきか」、「どのような江戸川区であってほしいか」、「みんなで支え合っていきたい」などの意見がありました。



広報えどがわ
2021年4/15号で
募集しました

いただいたご意見の中に多く使われている単語を
“AI(人工知能)”で抽出しました



大きな字で書かれた言葉が多く使われた言葉だよ



※ユーザーローカル社のテキストマイニングツールで分析(青色：名詞、赤色：動詞、緑色：形容詞)

いただいたご意見の
“ほんの”一部をご紹介します

ロボットと人が助け合うまち

木に引っ掛かったボールをロボットが取ってくれたり、人とロボットと一緒に料理をしたり、大人でも分からないことをロボットが教えてくれたりする未来がよいな



水と上手に付き合うまち

万が一の水害リスクのために、水辺の多い江戸川区の魅力を失うことのない2100年であってほしい。水害のリスクもあるけれど、それ以上に豊かな水辺がもたらす日々の生活への恵みが大きいと思う



未来の人に「ありがとう」と
思ってもらえるまち

2100年に生きる人たちに「ありがとう」と思ってもらえるよう、できることは何でもすぐに取り掛かるべき



みんなで支え合って暮らせるまち

誰一人取り残さない明るい未来を実現するためには、一人ひとりがお互いに助け合い、支え合っていくことが大切だと思う。今後人口が減少する中、お互いに助け合う気持ちが広がることを願っているし、自分も行動していきたい



下町らしい人情のあふれるまち

都心と違い、人と人とが親しみやすさをもって共に生活することが当たり前のまち。ただ昔のように戻るのではなく、例えば、若者が高齢者や障害のある方にIT技術を分かりやすく教え、代わりにインターネットでは分かりづらい裁縫や調理のコツなどを高齢者の方に教わることが当たり前にできるまちであってほしい



スポーツでつながる
グローバルなまち

いつでも誰とでもスポーツができるまちにしたい。今後外国人が増えていくなら、スポーツをきっかけにつながれると良いと思う



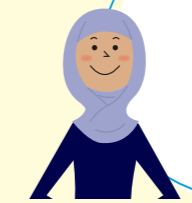
伝統と最先端が合わさったまち

江戸川区の伝統文化や産業が大切に守られていく。それと同時に、人々が暮らしやすく便利な生活を送ることが出来る最先端のまちになってほしい。2つの良いところが合わさったまちに住みたい!



緑が今よりも豊かなまち

地球温暖化が進んでいるかもしれないので、自然を少しでも多く豊かに、そして水害時に水を吸収して少しでも被害を小さくできたらいいな



いろんな人が集まるまち

外国人や高齢者、子どもなど多様な人がたくさん集まっているまちにしたい



1年かけて、たくさんの人々から意見を聞いてきたんだね



2021年6月～10月

ワークショップ

延べ486名の参加者（区の関係団体や区議会議員など）のみなさんから、2100年の江戸川区の明るい未来や、それを実現するためのアイデアなどについて、たくさんの声をいただきました。

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催。



オンラインミーティング

「2100年の江戸川区の目指す姿」についてご意見を直接いただくため、オンラインミーティングを開催しました。28名の参加者のみなさんの思いが込められた、貴重なご意見をたくさんいただきました。



えどがわ未来カンファレンス



えどがわ未来カンファレンス（通称：えどカン）とは、共生社会の実現に向けて江戸川区が立ち上げた会議体で、計18名の各界の有識者が委員として参加しています。これまで、区目指す未来や取り組みについて、みなさんと議論を重ねてきました。

● 2020～2022年で、計8回のカンファレンスを開催しています



これからみんなで話し合っ
て、未来をより良いもの
にしていきたいね！



2021年7月

（前文）

ともに生きるまちを目指す条例

ともに生きる。私たちは、一人ひとりを尊重し、誰もが安心して暮らせるまちを目指します。

人 とともに生きる。

このまちには、0歳から100歳以上の人まで様々な年齢の人たちが暮らしています。その中には、障害のある人や外国籍の人などもあります。一人ひとりの「ちがいが」尊重されることが、まちづくりの源なのだと、私たちは考えます。

社会 とともに生きる。

このまちでは、一人ひとりの立場や置かれている状況がちがう人々が集い、学び、働き、遊び、活動しています。ともに力を合わせる事が大切なのだと、私たちは考えます。

経済 とともに生きる。

このまちで活動する事業者は、大切な区民の一人です。地域に力を与えてくれる存在なのだと、私たちは考えます。

環境 とともに生きる。

海拔ゼロメートル地帯であるがゆえの災害の危険性を受け入れ、大規模な水害や巨大地震などが起きても誰一人取り残さないことが大切なのだと、私たちは考えます。

未来 とともに生きる。

世界中の人々が、より良い未来を創るために活動を始めています。それらを学びながら先頭に立って走り続けたいと、私たちは考えます。

今日生まれた子どもたちが2100年になって生活しているこのまちを、夢と希望に満ちあふれたものにしたい。私たちはその実現に向けて全力を尽くすことをここに誓い、2021年、この条例を制定します。

広報えどがわ
2021年8/15号で
紹介しました



「ともに生きるまちを目指す条例」を制定

区が2021年7月1日に制定したこの条例は、今日生まれた子どもたちが生きる2100年の未来に向けて、共生社会の実現のために区が果たすべき役割を定めたものです。

短い文章に思いを込めた条例の「前文」は、みんなで目指す未来のまちの姿を分かりやすく伝えるため、「ともに生きる」をキーワードに力強いメッセージでまとめています。

この条例には未来を生きる人々への思いやりが込められているんだね



未来のビジョン(素案)へのご意見・ご感想をお待ちしています!

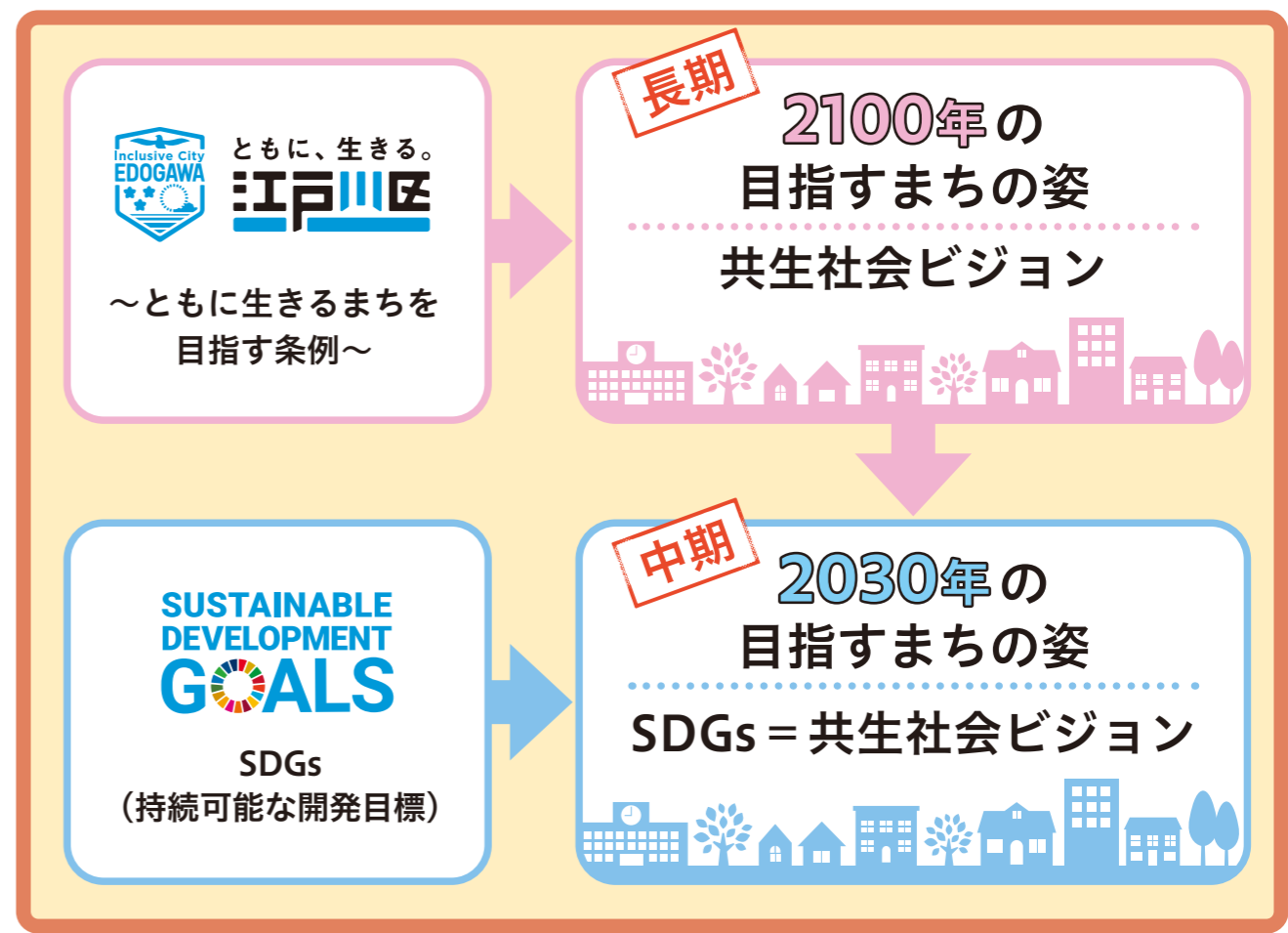


江戸川区は、誰もが安心して暮らせる、ともに生きるまち(共生社会)を実現していくため、2022年度の前半までに、未来のビジョンを完成させる予定です。

今回、みなさんからの声をいただき、より良いビジョンにしていきたいと考えています。ぜひ、ご意見・ご感想をお寄せください!



未来のビジョンはみんなで考えた“みちしるべ”です



2つのビジョンが、私たちの暮らしに関わってくるんだね

分野ごとの条例※
※区の大事な決めごとや約束、考え方などを表したもの。

分野ごとの事業計画

短期 毎年実施する区の全ての事務事業



(×キリトリ)

未来のビジョン(素案)へのご意見・ご感想をお待ちしています!

ご意見・ご感想は、ビジョンのタイトル、内容、取り組みについてなど何でも構いません。該当する項目にチェックをつけて、以下にご記入をお願いします。

2100年ビジョン	<input type="checkbox"/> タイトル	<input type="checkbox"/> 内容	<input type="checkbox"/> その他
2030年ビジョン	<input type="checkbox"/> タイトル	<input type="checkbox"/> 内容	

応募方法

- 郵送** 左のはがきにご意見を記入し、郵送でご応募ください。切手は不要です。
- インターネット** 応募フォームにアクセスし、ご意見を入力してください。



応募締め切り

2022年5月9日(月) 必着

応募に当たっての注意事項

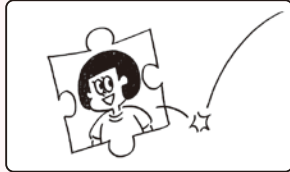
- 応募していただいた書類や電子データなどは、返却しません。
- 応募していただいた意見は今後、区の発行物やHPなどで公開する場合があります。
- 応募していただく際に、個人情報を記載いただく必要はありません。

本特集に関する問い合わせ

企画課 ☎ 5662-6045
ともに生きるまち推進課 ☎ 5662-0091

分かりやすく条例を紹介する オリジナルPR動画

「ともに生きるまちを目指す条例」を分かりやすく表現したオリジナルPR動画です。区公式YouTubeチャンネルやSNSで発信しています。



楽しく学ぶ えどがわ未来クエスチョン!

区が目指す「ともに生きるまち」を、オンラインで楽しく学べるクイズにしました。



※動画・クイズは下記二次元コードよりご覧ください。

共生社会のHP リニューアルのお知らせ

共生社会のHPをリニューアルしました。これからもより見やすく、より分かりやすくみなさんに区の共生社会に関する情報を発信していきます。ぜひご覧ください。



(動画・クイズもこちらから) ▶

ともに、生きる。

江戸川区プロジェクト!

区が目指す、ともに生きるまち(共生社会)の姿をより多くのみなさんに知ってもらうために、さまざまなコンテンツをこのプロジェクトで発信しています。その一部をご紹介します。

(×キリトリ)



差出有効期間
令和4年12月31日まで
(切手不要)

1 3 2 8 7 5 0

江戸川区中央1丁目4番1号
江戸川区役所
経営企画部 企画課 行

よろしければお答えください。

お住まい 区内/区外

年代 19歳以下・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80歳以上

